

新学術領域研究「神経系の動作原理を明らかにするためのシステム分子行動学」若手研究者海外派遣プログラム

新学術領域研究「分子行動学」では、若手研究者の国際交流を促進し研究分野の発展に寄与することを目的として、以下の要領で派遣旅費を支出致しますのでご希望の方はご連絡ください。

1) 申請資格

「分子行動学」の計画研究または公募研究に参画する若手研究者。「若手」の定義は特に設けず研究代表者の判断に任せる。学生、教職員とも可。研究代表者を通して申請すること。

2) 援助対象

1 か月以下の期間、研究に関連した目的で海外に渡航する場合。渡航目的の例を以下に挙げる。

- ・海外で開催される国際学会等に参加する。
- ・共同研究や研究技術習得などのために海外の研究室を訪問、滞在する。
- ・本研究領域の研究の経験を生かして留学先の選択のために海外の研究室を訪問する。
(一回の渡航でこれらを組み合わせて日程を組むことも可能。)

2) 支給内容

- ・航空運賃の実費
- ・宿泊費と日当
- ・学会参加の場合はその参加費
- ・ただし支給額の合計はアジア地域への渡航の場合 15 万円、他の地域は 20 万円以下とする。

3) 報告書

- ・帰着後 2 週間以内に報告書(体験記、感想)を提出することが助成の条件。
- ・A4 で 1 ページ以上の文章と写真 1 点以上を提出。
- ・報告書は新学術領域研究のホームページに掲載することがある。

4) 申請方法

出発の 2 週間前までに研究代表者より渡航者名、身分、所属、渡航先、渡航目的を領域総括班事務局 (tabuchi@biochem.s.u-tokyo.ac.jp) までメールにて連絡のこと。

5) 審査

申請受理後直ちに総括班事務局で検討を行う。予算に限りがあるため、本事業の趣旨への適合性の観点と、限られた予算内で広く助成を行う観点から選考の上決定する。